

## 令和6年度 平野区区政会議（5月）全体会議録

### 1 開催日時

令和6年5月31日（金） 19時00分～20時59分

### 2 開催場所

コミュニティプラザ平野（平野区民センター）大ホール

### 3 出席者

（区政会議委員）24名

石塚委員、石本委員、大久保委員、應矢委員、菊地委員、菰田委員、斉藤委員、  
篠原委員、白石委員、鈴木委員、立石委員、田部井委員、戸川委員、農野委員、  
八野委員、華房委員、濱田委員、福島委員、福本委員、藤井委員、松野委員、  
明浄委員、四辻委員、和田委員

（平野区選出市会議員）2名

永井議員、永田議員

（平野区役所職員）21名

武市区長、安井副区長、立本安全安心まちづくり課長、  
京極まちづくり推進担当課長、塩野企画調整担当課長、  
松本総務課長、木村安全安心まちづくり課長代理、  
丸山防災企画担当課長代理、辻まちづくり推進担当課長代理、  
西田保健福祉課長、中西生活支援課長、  
澤井保健福祉課長代理、小山保健福祉課長代理、植本地域担当課長代理、  
川島保健副主幹、齊藤保健副主幹、堀川子育て支援担当課長、  
中井政策推進課長兼教育担当課長、星野政策推進課長代理、

尾崎こども家庭担当課長代理、上窪こども見守り担当課長代理

#### 4 議題

(1) 令和5年度平野区運営方針の評価（振り返り）について

#### 5 会議内容

##### ○司会（小西政策推進課担当係長）

それでは定刻になりましたので、始めさせていただきます。

皆さん、こんばんは。

ただいまより令和6年度平野区区政会議5月全体会を開催いたします。

本日はお忙しい中、またお足元が悪い中ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

私は司会を務めさせていただきます、平野区役所政策推進課の小西でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、開会に当たりまして、区長の武市よりご挨拶申し上げます。

##### ○武市区長

皆様、どうもこんばんは。平野区長の武市でございます。

本日は大変お忙しい中、また雨がぱらぱら降る中、お集まりいただきましてありがとうございます。

今回の区政会議におきましては、議題にありますように、令和5年度、昨年度の平野区運営方針の振り返りということになります。まず区役所からの説明をお聞きいただきまして、また後ほど、皆様方の忌憚のないご意見などもお聞きしたいと思っております。

限られた時間ではございますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。

**○司会（小西政策推進課担当係長）**

続きまして、本日まで出席の皆様と関係者の紹介でございますが、お配りしておりますA3両面の平野区区政会議委員及び関係者名簿をご覧ください。表面が名簿、裏面が座席表となっております。今回長吉出戸地域活動協議会からの推薦委員につきまして、変更がございます。川口委員の後任として、新たに委員になりました、斉藤委員でございます。

**○斉藤委員**

斉藤です。今回初めての参加になりますけども、よろしく申し上げます。

**○司会（小西政策推進課担当係長）**

ありがとうございます。なお、斉藤委員には意見交換会におきまして、川口委員の後任として安全安心まちづくりグループに所属していただくこととなっておりますので、皆様、どうぞよろしく願いいたします。

また、こども教育グループに所属していただいております、稲田委員におかれましては、申出により辞任となりましたことをご報告いたします。

その他、委員の皆様、区役所職員の紹介につきましては、大変恐縮ですが、こちらの名簿をもちまして紹介とさせていただきます。

続きまして、本日オブザーバーとしてご出席いただいている市議員の方々をご紹介させていただきます。

永井広幸議員でございます。

**○永井議員**

申し上げます。

○司会（小西政策推進課担当係長）

永田典子議員でございます。

○永田議員

こんばんは。よろしく申し上げます。

○司会（小西政策推進課担当係長）

続きまして、傍聴者などの報告ですが、本日傍聴、並びに報道機関の取材はございません。

次に、本日使用する資料の確認をさせていただきます。資料右上に番号を付けております。事前に送付しました資料として、【事前資料1】と【事前資料2】、そして本日机の上に置かせていただいております資料が、【当日資料1】から【当日資料3】、こちらのうち【当日資料2】につきましては、【事前資料1】と同じものになりますが、本日提出用として改めて配付させていただいております。ほかに前回会議のご意見対応状況、またチラシとして2枚、「社会を明るくする運動」と、「防災シンポジウム」のチラシを置かせていただいております。資料の不足や、事前送付資料を本日持参されていない方がいらっしゃいましたら、挙手にてお近くの事務局職員までお声がけください。

それではここで、本日のタイムスケジュールについて簡単にご説明させていただきます。まずは次第のとおり、区役所から今回の議題であります「令和5年度運営方針（振り返り）」を約25分程度でご説明させていただき、委員の皆様にご評価いただきます。

次に、各グループに分かれて、この令和5年度運営方針（振り返り）を踏まえて、評価や今後について意見交換を行っていただきます。小グループは移動、休憩も含め

て60分程度を予定しております。

その後、再び今のお席に戻っていただき、全体会を再開します。この場では、各グループで出たご意見などをご報告していただき、それを基に皆さんで議論をしていただければと考えております。

終了は21時を予定しておりますので、円滑な進行にご協力のほどよろしくお願いたします。

それでは、ここから農野議長に議事進行をお願いします。

最初に、会議の成立及び会議の公開について、ご確認をお願いします。現在の出席者数は23名となります。

よろしくお願いたします。

#### ○農野議長

事務局さん、ありがとうございます。

この平野区の区政会議は、委員定数の過半数の出席をもって会議が有効となるところでございます。本日は、ただいまご報告がございましたように、32名中23名のご参加をいただいておりますので、本会議は有効であることをご報告いたします。

また、この会議は録音、録画され、後日会議の様子や会議録がホームページ等で公開されます。

また、限られたお時間の中、多数の委員の皆様にご出席いただいております。会議の円滑な進行にご協力くださいますようお願い申し上げます。

それでは、本日の議題となります「令和5年度平野区運営方針の振り返り」について、ご説明をいただきながら、委員の皆様におかれましては、評価をお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

#### ○中井政策推進課長

平野区役所政策推進課の中井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、失礼ながら座って説明させていただきます。

それでは私からは、昨年度の平野区運営方針についての自己評価についてご説明申しあげます。資料は2つの資料を使用させていただきます。1つ目は、事前にお配りさせていただいています、右上に【事前資料2】と書かれてあります「令和5年度平野区運営方針の振り返り【説明資料】」、こちらをまずは使用させていただきます。お手元にございますでしょうか。遅れて来た委員の方もいらっしゃると思いますが、この事前資料はお持ちでしょうか。大丈夫でしょうか。

あと、委員の皆様方には、この後私が説明資料に基づいて説明させていただきますが、それを踏まえて、評価シートのご記入をお願いいたします。ご記入いただく評価シートにつきましては、本日お配りしています、右肩に【当日資料2】と書いてあります、「令和5年度平野区運営方針【評価シート】」というA3版の横長の資料となりますので、お手元に広げながらよろしくお願いいたします。

まず、この評価シートの記入の仕方について、説明をさせていただきます。この評価シートが一番左の項目をご覧ください。項目という欄がございまして、例えば経営課題1でしたら、地域防災力の向上など、4つの項目がございます。その下にも経営課題2、経営課題3とございまして、3つの経営課題で合わせて合計7つの項目がございます。この後私が説明させていただきます、自己評価や各取組の実績などがこの経営課題の各項目の実現に有効であったかどうかを評価させていただきます。評価につきましては、右から2つ目、「項目の実現に有効であったと思いますか」という欄のところに「思う・やや思う・あまり思わない・思わない」の4つの項目がございますので、いずれか1つに丸を付けていただきますようお願いいたします。また、評価理由や各経営課題に対してのご意見などがございましたら、その右にあります評価理由欄にご記入をお願いいたします。全ての経営課題について丸付けが終わりましたら、評価シートが一番下の段をご覧ください。令和7年度に平野区が重点的に取り組むべ

きと思う項目について、3つ以内で丸をお願いしますという欄がございますので、こちらに丸を付けていただきますようお願いいたします。来年度、令和7年度の運営方針の策定に向けて参考にさせていただきたいと思います。なお、この下にある丸を付けたところに記載しています項目につきましては、令和5年度の取組の項目をベースにしておりますので、これ以外にも来年度に重点的に取り組むべきと思われる項目がございましたら、一番右に「その他」の欄をご用意させていただいておりますので、「その他」に丸を付けた上で括弧内に項目などを記入していただきますようよろしくお願いいたします。

また、後半の意見交換会でご発言いただくという形でも結構ですので、よろしくお願いいたします。この評価シートにつきましては、本日の会議の終わりに回収させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、この評価シートをお手元に置いた状態で、【事前資料2】こちらを開いていただけますでしょうか。ページにつきましては、右上にページが付けてあります。まず1枚めくっていただいて、2ページをご覧くださいいただけますでしょうか。運営方針の前提となります将来ビジョンのめざす状態と、運営方針で重点的に取り組んだ3つの経営課題及びその目標を記載しております。詳しくはこの後項目ごとに説明させていただきます。

その次、3ページをご覧ください。評価の流れについて記載しておりますが、先ほど私が口頭で説明させていただいたとおりですので、説明は割愛させていただきます。

続きまして4ページ、ご覧くださいいただけますでしょうか。ここからは、各経営課題ごとのさらに項目ごとの説明のページとなっております。まずはこの4ページ、経営課題1、安全・安心のまちづくりのうち、地域防災力の向上について、説明させていただきます。この地域防災力の向上につきましては、主な戦略という欄がございます。こちらに記載のとおり、地域住民などが参加する自主防災組織の主体的な活動支援としております。数値的な面でいきますと、その下にアウトカム指標としまして、自主防

災組織主体の地域防災活動（防災訓練・防災イベントなど）の実施地域数の令和5年度実績が全23地域のうち、21地域となっており、令和5年度の目標値である17地域を上回っております。

次の5ページをご覧ください。自己評価という欄がございます。自助・共助の重要性を理解してもらうため、各種イベントなどでの区民の防災啓発活動を実施したほか、防災リーダー連絡会議や防災リーダー講習を開催し、防災知識・技術の向上を図るとともに、消防と連携して地域防災訓練の実施支援を行いました。また、平野区災害対策本部機能の強化に向けましては、全職員防災訓練や大阪市防災情報システム研修などを実施し、これらの取組により防災対応力の向上を図ってまいりました。

次に、この5ページの下段に「今後の方針」という欄がございます。今後の方針としましては引き続き、地域住民が災害時に適切な避難行動ができるよう、情報発信を行うとともに、防災リーダー代表者向けの連絡会や防災リーダー講習会を通じて、地域の自主的な防災活動が円滑に進められるよう支援に努めてまいります。さらに、地域での訓練内容の相談があった際は、自立して避難行動ができない方が参加する避難所開設訓練の実施などを促し、避難行動要支援者への理解促進を図ってまいります。

続きまして、6ページをご覧くださいませでしょうか。地域防犯力の向上についてでございます。主な戦略につきましては、地域全体で犯罪を発生させないような環境づくりの推進としております。アウトカム指標としましては、地域と関係機関の協働による特殊詐欺被害防止の啓発活動の実施回数の令和5年度実績が19回となっており、令和7年度末までに毎年度5回以上という目標値を上回って達成しております。

続きまして、7ページをご覧くださいませでしょうか。自己評価としましては、地域や警察などとの協働による防犯キャンペーンを実施し、先ほどのアウトカム指標でもありましたように、とりわけ近年増加している特殊詐欺被害防止に向けて、啓発活動を積極的に行いました。その他、地域の実情に応じた防犯カメラの設置などを行ってききましたが、コロナ禍後の人流増加の影響もあり、令和5年の犯罪発生件数として

は増加しております。

今後の方針としましては、犯罪発生を抑止するため、引き続き地域や警察等と連携した啓発活動を実施するとともに、地域の実情に応じた防犯カメラの設置に取り組んでまいります。また、特殊詐欺被害防止機器の無償貸与について積極的に周知啓発を実施し、特殊詐欺被害防止に向け、継続して取り組んでまいります。

続きまして、8ページをご覧ください。地域活動力の向上についてでございます。主な戦略を、まちづくりセンターを活用した地域活動協議会の支援としております。アウトカム指標としましては、構成団体へのアンケートで、地域活動協議会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合の令和5年度実績が90.6%となっており、令和7年度末までに90%以上という目標値を達成しております。

続きまして、9ページをご覧ください。自己評価としましては、各地域の活動について、コロナ禍後の再開状況に併せて区広報紙「広報ひらの」及び平野区ホームページなどで紹介したほか、中間支援組織（いわゆるまちづくりセンター）とともに、地域活動協議会が自ら発行する広報紙の作成を支援し、5年度新たに1地域が発刊いたしました。

今後の方針としましては、コロナ禍により減少した各地域における活動が再び活発に行われるよう、まちづくりセンターを活用し、地域の実情に即した支援を実施するとともに、様々な広報媒体を活用した情報発信を行ってまいります。

続きまして、10ページをご覧ください。「地域魅力の向上」についてでございます。主な戦略は、「区民ニーズなどを踏まえた未利用地の有効活用」としております。

続きまして、11ページをご覧ください。自己評価としましては、長原駅前用地、その他一部の未利用地について売却を推進しました。

今後の方針としましては、引き続き区民ニーズなどを踏まえた上で、未利用地の有効活用を行い、魅力あるまちづくりを推進してまいります。

ここまでの、経営課題1、安全・安心のまちづくりとなります。【当日資料2】A3の横長版の評価シートを既に順次ご記入いただいている方もいらっしゃると思いますが、シートを今の説明等も踏まえましてご記入いただきますよう、よろしくお願いいたします。

この後のお時間の関係もありますので、引き続き私から説明を。全然聞きながらで結構ですので、評価シートの記載もしていただきながら。続きまして、資料12ページに進んでいただけますでしょうか。

続きましては経営課題2のみんなで支えあう福祉のまちづくりのうち、地域福祉力の向上についてでございます。主な戦略につきましては、「地域福祉活動コーディネーター」が地域の福祉活動の担い手とともに、各地域において専門支援機関などとの連携を図りながら見守りや相談ができる体制を機能させる、寝たきりにならないようにするための運動習慣や、認知症の発症を予防（遅延）する取組の支援としております。アウトカム指標としましては、地域福祉活動コーディネーターが関係機関と連絡調整した活動件数の令和5年度実績が29.6件となっており、令和5年度以降継続的に1地域あたり月平均25件以上という目標値を達成しております。

続きまして、13ページをご覧くださいませでしょうか。自己評価としましては、コロナ禍での活動制限も徐々に緩和され、地域福祉活動コーディネーターによる個別訪問や声かけなどを活発に実施できました。また、少し飛びまして、健康寿命の延伸につきましては、いきいき百歳体操などの取組をコロナ禍の収束に伴い各地域で再開できるよう支援を行いました。

今後の方針としましては、地域福祉活動コーディネーターが地域での福祉活動を中心的に担うためには、広報紙などを活用した認知度向上をめざすとともに、毎月の連絡会などを活用し、おのおのの活動内容や手法を共有することにより、充実した活動につなげる必要があると考えております。また、地域活動に関わりながら、新たな担い手の発掘・育成にも力を入れることで地域福祉力の向上に取り組んでまいります。

さらに、寝たきりにならないようにするための運動習慣や、認知症の発症を予防（遅延）する取組の支援を継続してまいります。

経営課題2につきましては、この項目でございますので、また順次、評価シートのご記入をよろしくお願いいたします。

それでは資料を続けまして、14ページをご覧くださいませでしょうか。経営課題3、こどもが元気で育つまちづくり、その中でまずは、子育て支援の充実についてでございます。主な戦略を児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援、複合的な課題を抱える子育て世帯に対する総合的な支援と高校生活の定着支援としております。アウトカム指標としましては、こどもサポートネット支援対象者件数の令和5年度実績が357件となっており、令和5年度以降継続的に300件以上という目標値を達成しております。

次に、15ページをご覧くださいませでしょうか。自己評価については、虐待を未然に防止し、深刻化させないために要保護児童などのアセスメント（分析・評価）を行い、支援が必要なケースに対しフォローを実施できました。また、子育てしやすい環境をめざし、子育て中の親の孤立化を防ぐための情報発信や、支援者や団体とのつながりを深める場づくりに取り組むことができました。さらに、複合的な課題を抱えるこどもやその世帯について、関係機関などと連携しながら適切な支援制度等につなげるなど、子育て支援の充実に取り組みました。

今後の方針としましては、児童虐待を未然に防止するために、引き続きハイリスク妊婦や乳幼児健診未受診者の把握をはじめ、要保護児童などとその世帯へのタイムリーな支援を粘り強く継続する必要があると考えております。また、子育てしやすい環境をめざし、情報発信をはじめ、複合的な課題を抱える児童及びその世帯に寄り添う支援を継続する必要があると考えております。複合的な課題を抱える高校生が増加しており、卒業に向けた支援と福祉的な支援のバランスに留意しながら、関係機関と連携した支援を継続してまいります。

続きまして、16ページをご覧くださいでしょうか。こどもの学習意欲の向上についてでございます。主な戦略を、読書運動や清掃活動など、様々な活動に対する表彰や学力サポート事業を実施としております。アウトカム指標としましては、全国学力・学習状況調査で、学校に行くのは楽しいと感じる生徒の割合の令和5年度実績が76.6%となっており、令和7年度末まで76%以上という目標値を達成しております。

続きまして、17ページをご覧ください。自己評価としまして、読書ノートの活用については、表彰者数・表彰率ともに昨年度より向上しており、学習意欲・基礎学力の向上につながる取組を広げることができていると考えております。ただし、中学生については、表彰者数・表彰率ともに昨年度より増加しているものの、小学生の数値を大きく下回っていることが課題であると考えております。

今後の方針としましては、引き続き、がんばる小学生・中学生区長表彰など、こどもたちが様々な活動を通じて学校生活を楽しいと感じられるよう、学校と連携し取組を継続してまいります。また、読書ノートについては、生徒から集めた意見を参考に、取組周知の充実や達成記念品の見直しなどを行い、中学生を中心に表彰者数・表彰率のより一層の向上を図っていきたいと考えております。

以上、簡単ではございますが、経営課題の各項目について、取組実績などを説明させていただきました。順次、評価シートの記入をお願いいたします。

また、評価シートの記入が終わりましたら、一番下の欄にあります、令和7年度に平野区が重点的に取り組むべき項目につきまして、こちらは最大3つまで丸を付けていただきますようお願いいたします。

最後になります。資料の18ページをご覧くださいでしょうか。ここまで区としての重点項目であります、3つの経営課題について説明をさせていただきました。最後に令和7年度運営方針の策定に向けてでございますが、令和5年度はコロナ禍の収束に伴い、ようやく様々な活動が再開された1年となりました。一方で、平野区で

は単身高齢者世帯の増加や、少子高齢化により人口減少が続いているなどの背景から、社会的孤立や地域活動の担い手の減少といった課題への対応が求められています。改めて平野区将来ビジョンに掲げる「笑顔輝くまち ひらの」の実現に向けて、「安全・安心のまちづくり」、「みんなで支えあう福祉のまちづくり」、「こどもが元気で育つまちづくり」これら3つの柱となる施策について、人や地域などあらゆるつながりを大切にしながら様々な取組を進めてまいりたいと考えております。どうぞ、これからも皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上で、私の説明は終了させていただきます。

#### ○農野議長

ありがとうございました。皆様方、ただいま振り返りのご説明を聞いていただきながら評価表を書いていただいておりますかと思いますが、それではここで全体会を一旦閉じまして、それぞれ3つのグループに分かれていただいて、その評価シート、あるいは先ほどご説明いただいた資料を基に各グループで区政についてのご意見をいただきたいと思っております。

事務局さん、ご案内をよろしくお願いいたします。

#### ○司会（小西政策推進課担当係長）

委員の皆様には、現在各評価シートの記入をいただいているかと思っております。先ほどご説明いただきました内容についてのご意見・ご質問につきましては、大変恐縮ではございますが、時間の都合もございますので、この後のグループ別意見交換会や、後半の全体会などでお伺いしたいと思っておりますので、その際をお願いいたします。また、記入いただいております評価シートにつきましては、会議の最後に回収させていただきますので、それまでに随時のご記入をお願いいたします。

では、これから皆様には席を移動していただき、グループごとに議論をしていただ

きます。なお、後半の全体会では、各グループで話し合われた内容を、委員の代表の方から報告していただきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

意見交換の場所ですが、「安全安心まちづくり」グループは2階会議室、「地域福祉グループ」は現在お座りいただいております、こちらのホールの前方舞台側、「子ども教育グループ」はホール入り口側に設置しております机となっております。

なお、各グループに見学席をご用意しておりますので、市議員の皆様もよろしければご見学いただければと思います。

なお、移動する際、お荷物等、貴重品の管理は各自でお願いいたします。

全体会の再開は約60分後、20時30分からを予定しております。

それでは、移動をよろしく申し上げます。

(小グループ意見交換会のため一時中断)

(再開)

## ○農野議長

それでは、ただいまより全体会を再開したいと思います。よろしいでしょうか。

本日前半に令和5年度の平野区運営方針の振り返りについて、区役所さんからご説明いただきました。それを基に各グループで具体的な取組等についてご議論いただけたかと思います。その内容について、委員の皆様方から出た主なご意見について、各グループの代表の委員様より順にご報告をお願いしたいと思いますので、よろしくごお願いいたします。

まずは安全安心まちづくりグループから、ご発表をお願いしたいと思いますのでよろしくごお願いいたします。

## ○石塚委員

こんばんは。安全安心まちづくりグループのお話をさせていただきます、石塚と申します。

様々な視点のお話が出たのですけれども、大きく全体としてやはり広報の方法であったり、量に関してもっと改善ができるのではないかといったご意見が多く出ました。具体的に申しますと、まずは防災についても、訓練であったり取組は様々しているものの、なかなか地域の中で広くいろいろな方に参加してもらうのって難しいなというお話であったり、「広報ひらの」で区役所としては発信してくださっているのですけれども、それも防災の記事がもっとあってもいいのではないかといったご意見が出ました。

地域で広めていくに当たって、区役所でされている取組の中では、家具の転倒防止の講座であったりとか、そういった出張講座のようなものも取組としてされているので、もっと活用されたら有益なのではないかといった実例、実体験のご意見もございました。

また、防犯につきましては、実際に特殊詐欺の電話がかかってきたのですといった体験談をお話しされている方がいらっしゃいまして、そこから特殊詐欺に関して区役所として取組を電話の貸し出しであったりしているものの、それもまだやはり知らない方も多し、実際に平野区の中でこの数というのはまだまだ少ないのではないかとといったご意見が出ました。こちらもやはりもっと広報をすることで貸出数を増やして、特殊詐欺の防止につながられるのではないかといったお話でした。

また、こちらの項目とは違うのですけれども、害獣・害虫に関してのお話が上がりました。害獣・害虫というのが外来種であったりとかアライグマであったりとか、平野区内でも見られているようなのですけれども、なかなかそれもいかに危険なのかであったり、どう対処すべきなのかといった広報が区からはあまりされているように思われたいということで、区民が気を付けるべきことであったりとか、もっと広報でもいいですし、その他の方法でもいいのですけれども、周知を徹底してもらえたらうれし

いなといったようなお話が出ておりました。

とにかく全体としてやはり広報不足というか、もっといろいろな方法で区民に対して話ができるのではないかなといったご意見が多かった印象です。

以上とさせていただきます。

#### ○農野議長

ありがとうございます。大阪の南部の方ではセンザンコウが普通に生息しているみたいな話もあつたりしますけれども、ありがとうございます。

続きまして、地域福祉グループからご発表をお願いします。

#### ○白石委員

地域福祉の白石が発表をさせていただきます。

今の安全安心まちづくりグループの担当の方が言われましたけれども、やはりこちらでも区役所さんの広報のされ方というのがもうちょっと工夫があってもいいのではということを発表されました。特に、区役所で調べようとしたら、すぐに大阪市にリンクされるようになっていて、要するに区役所さんとしての主体的な広報が少ないということで、もうちょっと区役所さんとしての行き届いた広報をしていただきたいということをまず要望したいと思います。

それから、こちらはどこも高齢者の方が多くていろいろな問題があると思いますけれども、まず連合町会とか町会というのがもちろんありまして、基本的にはいろいろな町会があつて、連合町会というのがあるのです。町会というのが5つのところもあれば10のところとか、もう1つは戸建てのところと、そういう集合住宅とかいろいろなバリエーションがあると思いますけれども、要は基本的に連合町会というか町会そのものの運営が今非常にやりにくくなっていると、何でやりにくくなっているかといったら皆さんも十分ご存じのとおり、町会を運営というか、そういう係の人が非常

に高齢化していて、その高齢者の中でやりくりしながらどうにか維持できているものの、そして新しい知恵を入れようと、若い方を入れようとしてもなかなか無関心で、そういう係のほうに目を向けてくれないと、それはもちろん年齢的に若い方は当然日々働いておられるので、物理的に無理という点もあるのですけれども、なるべくそういう方も連合町会というか町会というのか、運営に努力していただくようにしたいということです。その中に1つ消防団になかなかなくならないかということがあるので。あるところでは、今回10名の方が新しく消防団に入られたというのですね。それは結局びっくりするようなお話ですけど、PTAの関係からそういう人的な親しみというか、交流があって、そういうベースがあって初めて10人前後消防団に参加していただいたというのがあるのです。

まとめか何か分かりませんが、こういう皆の連合町会とか町会とかそういう1つの組織をつくるとすれば、やはりリーダーが大事なのと、もう一つはっきりとした明確な何をやりたいということを区役所さんなり、連合町会の会長とか、そういうリーダーがはっきりとした明確なビジョンというか、方針を持っておられることが非常に大事ではないかと思えます。

まとめるのが下手くそですけれども、要は二、三の方からも区役所さんのホームページのやり方というのをもうちょっとプロの方の手を借りてでも、もうちょっと分かりやすく目が行きやすい、開いてみようかなというようなホームページを開設するように努力していただきたいと思えます。

以上です。

## ○農野議長

ありがとうございます。

それでは、こども教育グループからよろしく願いいたします。

## ○四辻委員

失礼します。四辻と申します。よろしくお願いいたします。

まず、こども教育グループでは、3つのテーマに沿ってお話をさせていただきました。まず1つ目は、平野区のこどもの問題です。それと2つ目は、こどもで昔から変わった点ということも出てきました。最後に、子育て情報についてです。

まず1つ目の平野区のこどもの問題ということで、要保護児童が多いということを知らせていただきました。それプラス学力の問題、上と下で上のほうのこどもと下のほうのこどもが多くて、真ん中が少なくなるという状態をどういうふうに解決していったらいいかというふうなお話も出ていました。あと、虐待も様々な階層で起こっているということで、やはり手を差し伸べていかなくてはならないということで、サポートネットという関係で、学校で気になる子を教えていただいて、それを福祉につないでいくという形がとてもいいのではないかということでした。それと若い人の当事者、それぞれの悩みの声を拾っていくということが相談体制ということに関わってくる、必要性があるのではないかということでした。

2つ目の平野区のこどもで変わった点、昔とどういうふうに変わってきたかということもお話が出ました。まず、こどもの数が減ってきたということで、地域のPTA、盆踊りも少なくなったり、またPTAの役員さんなんかもなかなかしてもらえないという現状があるということでした。それと今どきの問題ですけれども、携帯のことで、携帯を持つことによって、またそれに関する問題が出てきている、例えば返信しなくてはいけないとか、そういうことも起こってきて悩みの1つになっている。それからそういうことに関してスマホ教室を開いていただいて、スマホの使い方とかをやっていただくということもいいことではないかというふうなことも出ていました。それから各種団体との連携で、今やっけていただいているのは、ラグビーのレッドハリケーンズさんですか、いろいろとお世話をさせていただいて、そういう方たちのお話を聞いたりということも、こどもたちの学校に出向いてということもやっていただい

るということです。それから、学校の情報を知るという点では、学校のホームページを見るというのが、情報を得る機会だと思いますけれども、学校の先生もとてもお忙しくて、なかなかホームページということに関わるというのが難しい学校もあるということなのです。でも地域の住民としては、ホームページの中でいろいろなことを発信していただいたら、こどもたち、地域のこと、保護者のことも分かるかなというふうなことも出ていまして、充実してほしいなということと、でも先生が忙しいということ、その関わり合いも難しいなという話も出ておりました。

それから、子育て支援についての情報発信のことですけれども、私たちはともすれば、こどもができたなら、そして子育てをしている状態でのどうしたらいいかという話が出てきていると思いますけれども、こどもができる前から平野区はこういうふうにしていきたいと思いますとか、こういうふうにかつこどもができたならこういうことができますよということも発信していくということも大事ではないかなという話が出ておりました。自分たちが知りたいと思うことは、やはりこちらからも努力して知る必要があるのではないかなと、いろいろなところで聞けるような状況もつくっていかねばならないのではないかなというふうなことをお話ししました。

少し漏れているかもしれませんが、以上です。よろしくお願いします。

## ○農野議長

ありがとうございます。各グループから非常に分かりやすいご報告をありがとうございます。

何か今日お集まりの委員の皆様方で、全体的なことでも結構でございます。何かご意見をおっしゃりたい方はおられませんでしょうか。よろしいですか。

今日は区政会議に関するアンケートを入れていただいております。その中にQの8番、クエスチョンの8番につきましても、区政会議へのご意見・ご要望を自由にお書きくださいという形で、ぜひ何かございましたらそちらに書き込んでいただけたらと

と思いますが。【当日資料3】です。

それでは、ここで松野副議長から本日のまとめをお願いしようと思いますが、よろしいでしょうか。お願いします。

### ○松野副議長

皆さん、こんばんは。令和5年度の平野区運営方針の振り返りについて、先ほど各グループの代表の委員さんより、グループ内での主なご意見・ご提案について報告がございました。私自身、各グループの全ての内容について把握できておりません。また、まとめ役として発言する能力も正直に欠けていると思いますけれども、本日ご出席いただきました皆様方にご協力、お力添えをいただいて、限られた時間ですけれども、ぶっちゃけ持ち時間3分以内と言われておりまして、まとめるのがなかなか難しいなということですが、時間がありませんので。

安全安心のまちづくり、もっと広報に力を入れてほしいというのですか、上手に発信してほしいなという意見が多かったと思うのです。防犯についても特殊詐欺というのですかね。その辺、電話の貸し出し等こういうのがありますよということを「広報ひらの」についても大々的にというか、もっと根気よくというか、発信してほしいなというご意見だったと思います。

それから、地域福祉のグループですけども、広報についての工夫というか、ホームページ、その辺がもうちょっと区役所内できめ細かくというか、丁寧な形でしてほしいなという意見がありました。特に平野区は高齢化率が40%を超えていまして、それぞれの地域、実情、課題というのはそれぞれ地域によっていろいろとございますので、丁寧に地域に合った取組を進めていかないと一長一短ではできないかなと思います。

それから最後、こども教育ですけども、こどもさんの問題というか、平野区は要保護児童が多いのと違うかとか、学力でできる人とできない人というか、間があまり

いてないなというような話とか、サポートネットというのか、あるいは学校のホームページ、もっと発信してほしい、子育て支援についても同じような話がございました。いずれにいたしましてもいろいろな情報をこの出席した全員が共有できるというのが、私は区政会議開催の大きなメリットの1つだと思います。

最後になりますけれども、令和6年度になりまして、4月・5月と既に2か月が経過しております。各グループのご意見・ご提案を早急に区政運営に取り入れていただいて、「笑顔輝くまち ひらの」の実現をめざしていただきますようお願い申しあげ、簡単ですけれども、まとめとさせていただきます。ありがとうございました。

#### ○農野議長

松野副議長、ありがとうございました。

本日、市会議員の皆様がご出席いただいておりますけれども、ご意見をいただけますでしょうか。よろしくをお願いします。

#### ○永井議員

大阪市会議員の永井と申します。今日は永田市会議員と2人で拝見させていただきました。

皆さんから本当に貴重な意見を様々な分野で様々なお答えをいただきました。特に平野区の課題として、防災力の向上であるとか、未利用地の活用、また健康寿命をしっかりと上げていこうというような答えもありました。

防災力については、特にトイレについての課題もございます。先日の能登半島の地震でも、もともと三十数万人のトイレは用意していましたが、これのガイドラインを総務省が変えて、五十数万人に変えて今回予算を付けると、ただ大阪市の間人口というのは350万人います。そのうちの五十数万人のトイレだけでは、これはトイレを1人が1日5回行くという計算でされているんですけど、まだまだ足りな

いと思います。こういうことをしっかりとやっていきたいと思ひますし、未利用地の活用についても、これは平野区役所の皆さんが本当に頑張つていただいて、当時は中央環状線から東側のところって市営住宅の空き地がたくさんあったのですけども、ほとんどのところが売却のめどが立って、この土地というのは皆さんの財産ですけども、特に平野に必要なのは、若い世帯をどんどんどんどんと住んでいただいて、小学校・中学校をしっかりと活性化していく、こういうことも大事であるというふうに思ひます。

また、健康寿命の件も、これは皆さんご存じのように大阪市は介護保険料が日本一高いというふうな報道がございました。使う方が多ければ、この介護保険料も多くなっていくことなのですけども、こういった中でしっかりと健康寿命を行政と我々も含めてですけども、地域の皆さんと手を携えて健康寿命、介護を受けない年の取り方をしっかりと勉強していかなければいけないというふうにも、今日の皆さんの意見を聞かせていただいて、ますますしっかりと我々議員も取り組んでいかなければいけない共有の課題であるというふうに思ひましたので、この区政会議でいただいた意見をしっかりと我々も区役所だけに任せるのではなくて進めてまいりたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

本日は大変ありがとうございました。お疲れさまでした。

## ○農野議長

ありがとうございました。先日ある記事を読んでいましたら、チャットGPTですかね。何かテーマを入れると、自分で考えて研究計画を立てて、実験までをやってしまつて、結果も出すと、そういう時代がもうそこまで来ていると言われていて、じゃあ研究者は何をするのかというと、足りなくなった試薬の薬品を足すぐらいだみたいな、そんなことが言われているのですけれども、本当はやはり私たち、大学の研究者は考えることが仕事なので、そういうじっくりと考える時間が必要なんでしょうけど

も、なかなか大学も今忙しくなっています。そんな中で、今日皆さん方に集まっていたいていろいろなことをきって考えていただけたかと思います。そういうことをぜひこの平野区さんの区政に反映できればと思いますので、今後ともよろしく願います。

それでは、時間がそろそろ参ってまいりましたので、皆様方、円滑な議事進行へのご協力をありがとうございました。

事務局さんにお返ししたいと思いますがよろしいでしょうか。

#### ○司会（小西政策推進課担当係長）

農野議長、松野副議長、ありがとうございました。

それでは、会議終了の前に、本日お配りしております2枚のチラシ、「社会を明るくする運動」と「防災シンポジウム」について、安全安心まちづくり課長、立本よりご案内をさせていただきます。

#### ○立本安全安心まちづくり課長

すみません、お疲れのところ、2点だけアピールさせてください。黄色のチラシがまず6月2日、明後日、こちら区民センターで防災シンポジウムを開催します。1月1日に発災した能登半島の地震に多くの職員、消防士、社協から応援に行っております。それらの体験談を話ながら、地域、平野の防災をどうやっていくかというシンポジウムにしたいと思っております。お越しいただいた方には、6リットル入る給水袋とか防災グッズも用意しておりますので、ぜひともまだ知らない方がおられましたらお声がけください。

それから、青色のチラシが、「社会を明るくする平野区大会」、社会を明るくする運動というのは、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生ということで、平野区でも多くの保護司の方々が活動しておられます。7月7日強化月間が7月ですので、

平野区大会をここ、区民センターで開催いたします。当日は朝10時からバザーも開催します。それから地元の小・中学生の作文コンテストや、中学生によるコンサートもありますので、この辺も来月のことですが、よろしくお願ひします。

以上です。

#### ○司会（小西政策推進課担当係長）

それでは最後に、本日お配りしました令和5年度平野区運営方針の評価シートと、本日お配りしております【当日資料3】アンケートにつきまして、こちらはご記入いただきまして、名札とともにそのまま席に置いてお帰りいただきますようお願いいたします。ただし、自由意見欄の記載などで、後日の提出を希望される場合は、別途返信用封筒をお渡しさせていただきますので、お近くの事務局職員にお声がけください。

区役所からの説明は以上でございます。

それでは、閉会に当たりまして、区長よりご挨拶を申し上げます。

#### ○武市区長

本日もたくさんのご意見を活発にお聞きすることができて、本当にありがとうございました。今日はやはり広報の話がいろいろなグループで出たということで、本当に役員をやっていたら情報が入るけれども、多分それ以外の一般の区民の人はいろいろな行政がやっている行政情報が届いていないよというのは、身に染みるものがございます。福祉のこととかは自分に降りかかってこないと関心が湧かないというようなこともあるとは思いますが、地域包括支援センターがいろいろなところに出向いて行って、いろいろな方にこんなこともやっているよとか、いろいろな情報をお伝えはしているにしても、なかなか同じ方ばかり参加されると広がりがなく、そういうこともあると思います。広報にもっと予算をかける、予算に余裕があるのであればかけたいところではあるのですが、なかなか予算の余裕もございませんので、各

地域、何をどのように広報していかないといけないか、どういう世代に何を私たちは伝えないといけないのかというようなことを効果を考えながら絞り込んでぜひやっていきたいなと思います。

今日、人生会議の話も出ましたけれども、今日来られている方で人生会議ってそういういえばというふうにピンと来られた方がどれぐらいいらっしゃったかというのも私たちの広報不足だと思います。厚生労働省が人生会議を開きましょうというキャンペーンを打って、いったい何年たっているのか、かなりたっているのです。ただ平野区で去年一度研修会をして、皆本当にいい研修会だったとは言ってもらいましたけれども、まだまだ広報が足りていないというのは、肝に銘じてやらないといけないなと考えたところでございます。

本当に今日はどうもありがとうございました。また持ち帰りまして、できるだけ区政にしっかりと反映できるようにやっていきたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

**○司会（小西政策推進課担当係長）**

それではこれで、平野区区政会議5月全体会を終了いたします。

ありがとうございました。

—了—